

平成24年第3回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

6月19日～6月21日

質問順位

- | | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 1. | 赤木忠徳 | 2. | 門脇俊照 |
| 3. | 横路政之 | 4. | 中原巧 |
| 5. | 八谷文策 | 6. | 林高正 |
| 7. | 徳永泰臣 | 8. | 西村和正 |
| 9. | 名越峯壽 | 10. | 坂本義明 |
| 11. | 福山権二 | 12. | 小谷鶴義 |
| 13. | 谷口隆明 | 14. | 宇江田豊彦 |

庄原市議会

平成24年6月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	赤木忠徳	日本一住みやすい、住みたい庄原市になるために	1
		エコ化を進めよう	3
		臨時職員、嘱託職員の雇用安定を	3
2	門脇俊照	備北丘陵公園の今後について	4
		今後の介護保険料について	4
		職員給与の特例に関する条例について	4
3	横路政之	若者が暮らしやすい街へ	5
		児童・生徒の安全対策について	6
		学校施設の非構造部材の耐震対策について	7
		まちなかの活性化のために	7
4	中原 巧	総領町を通過する国県道の整備及び事業の中止された緑資源幹線林道支線高尾小坂線の代替事業の方向性について	8
		東日本大震災に係る災害廃棄物への本市の対応について	10
5	八谷文策	庄原市と環境ベンチャー企業との共同事業について	12
6	林 高正	地域担当職員制度導入について	13
		グリーンケミカル(株)の補助金不正受給刑事事件等への対応について	14
7	徳永泰臣	若者定住促進について	15
8	西村和正	企業誘致など地域経済の活性化に向けた取り組みについて	16
		防災対策について	17
		広島県起業の道整備交付金事業（河内高野線）の促進について	18

順位	質問議員	質問項目	ページ
9	名越峯壽	林業振興について	19
		固定資産税の評価について	20
10	坂本義明	庄原上野公園の今後について	21
		庄原地域の斎場整備計画について	21
11	福山権二	ジュオン問題の事業管理について	22
		ジュオン問題の総括視点について	22
12	小谷鶴義	グリーンケミカル(株)破綻後の新スポンサー企業の見通しと時期について	23
		グリーンケミカル(株)に売却した用地について	23
		農林振興公社の運営する八木店の今後について	23
		T P P 問題に対する農業委員会としての考え方について	24
13	谷口隆明	地元中小企業の振興について	25
		震災がれきの広域処理について	25
		補助金不正受給問題の解決を	25
14	宇江田豊彦	庄原市と環境ベンチャー企業ジュオンが進めた共同事業の成果と課題について	26
		超高速情報通信網整備と商工業振興について	28

※一般質問

6月19日(火) 赤木忠徳・門脇俊照・横路政之・中原巧・八谷文策

6月20日(水) 林高正・徳永泰臣・西村和正・名越峯壽・坂本義明

6月21日(木) 福山権二・小谷鶴義・谷口隆明・宇江田豊彦

順位	1	質問者	赤木 忠徳	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 日本一住みやすい、住みたい庄原市になるために	<p>日本一住みやすい、住みたい庄原市になるために、具体的に次のとおり伺う。</p> <p>(1) 日本経済新聞社が実施した行政サービス調査において、全国及び中国5県の中で、本市の総合ランキング、「子育て環境」「高齢者福祉」「教育」の各部門のランキングは、それぞれ何位に位置しているのか。</p> <p>(2) 他市が行っている次のようなサービスを本市が実施した場合、いくら必要となるのか。また、実現可能であるか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2子以降の保育料無料化 ・ 若者世帯の住宅（市内の雇用促進住宅を活用）料金を一律1万円 ・ 中学生までの医療費無料化 <p>(3) 今後における可処分所得の拡大を実現し住みやすい市にするための施策（住居費、保育料、教育費などにおいて）を伺う。</p> <p>(4) 松江市は「教育力日本一の実現ー明日の松江を担う宝を磨くー」と題して、「4－3－2区分」の教育課程の編成など小中一貫教育による学力向上、国・県の学力調査の全教科で全国値を上回る、不登校児童生徒数を半減、「ノーテレビ・ノーゲーム」運動の推進、全ての小中学校への図書館司書の配置、フッ化物洗口の全小中学校での</p>			市長 教育長

順位	1	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 日本一住みやすい、住みたい庄原市になるために	<p>実施、小学校の部活動の復活、全小中学校の校庭の芝生化、全国の中高生を受け入れる「体験学習のまち」づくりなどを実施中である。</p> <p>また、韓国は英語教育の先進国であるが、各地域に「英語村」と称して英語しか通用しない施設があり、福岡市教育委員会は、中学生70名を釜山グローバルビレッジ(ホテル、空港など50の体験ブース)に8月10日から19日まで(9泊10日)派遣したり、さらに、市内小学5年生から6年生までを対象に、8月29日から31日まで、市内体育館で買い物やゲーム等、外国にいるような体験ができるイベントを開催し、10ブース1,000人の参加をめざしている。岡山市でも同様な施策を実施している。</p> <p>そこで、教育力のある町に住んでみたい、住みたいと思うような市として、市民にアピールする時代と考えるが、例として示した他市の取り組みについて、いかが思われるか伺う。</p>		市長 教育長

順位	1	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. エコ化を進めよう	<p>福井県敦賀市では、ペーパーレスをめざして、iPad を使用して会議を進めている。岡山県議会、三次市議会においても電子化に取り組まれている。</p> <p>そこで、現在の本市のコピー機・ペーパーの年間総経費は幾らか。また、今後のペーパーレス推進計画について伺う。</p>		市長
3. 臨時職員、嘱託職員の雇用安定を	<p>臨時職員、嘱託職員の任期は1年又は5年と定められており、管理栄養士など資格者も同様にされ、しかたなく、資格を発揮できない職場で勤務している方が多く存在すると聞いている。</p> <p>そこで、庄原市総合サービス(株)等の職員としての派遣業務という雇用形態をとり、同一の職種につくことで、その能力を発揮することができるよう検討してはどうか、市長の考えを伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	門協 俊照	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 備北丘陵公園 の今後について	<p>丘陵公園は本市において観光の拠点であり、雇用、物品販売に結びついているなど、本市の宝である。</p> <p>しかし、今後、これまでどおり国の予算措置がなされるのか、来園者のさらなる増加が望めるのか。</p> <p>国の職員に何うと、財政難で費用対効果が問われ、大変厳しい時期に来ており、庄原市とのこれまで以上の関わりが必要と言われている。</p> <p>市民も、「公園があって当たり前」の思いは要注意であり、これまで以上の関わりを築く必要あると考えるが、市長の思いを何う。</p>		市長	
2. 今後の介護保 険料について	<p>今年、介護保険料の改定が行われた。右肩上がりの保険料に対して、各部署において努力はされているが、市を挙げての抜本的な本市独自の抑制案はないのか、市長に何う。</p>		市長	
3. 職員給与の特 例に関する条 例について	<p>先日の議員全員協議会において、3月定例会で否決した「庄原市職員の給与の特例に関する条例」を、わずか3カ月後の6月定例会へ同じ内容で再提案するとされているが、市長の真意を何う。</p>		市長	

順位	3	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 若者が暮らし やすい街へ	<p>少子高齢化が進む中、人口減少を食い止めるには、子育て世代が暮らしやすい環境づくりも必要と考える。本市も子育て支援として、出産祝い金など特徴ある事業を行っている。</p> <p>しかし、このように、各種の施策を展開しているにもかかわらず、本市の子育て世代は減少しつづけている。</p> <p>(1) 若い世代に対しての、本市の定住に資する子育て支援策のPRは、どうされているか伺う。</p> <hr/> <p>(2) このような状況を打開するため、子育てをしやすい環境づくり施策を拡充すべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p>			市長

順位	3	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 児童・生徒の 安全対策につ いて	<p>(1) 近年の異常気象は、今までの想定を超えて様々な被害をもたらしている。夏に向かい猛暑による熱中症が懸念される。本市として、熱中症から子どもを守るためにどのような対策を講じられようと考えておられるのか伺う。</p> <p>全国には、計測器を配備して熱中症を未然に防ぐ対策を講じている自治体もある。</p> <p>本市においても配備すべきと思うが、考えを伺う。</p> <hr/> <p>(2) 次に、登下校時の児童に車が突っ込み死傷する事故が立て続けに発生している。惨事を回避するためには、通学路の危険箇所等はないか点検し、より一層安全対策を強化しなければならないと考える。</p> <p>本市において対策強化はなされたのか伺う。</p>		教育長

順位	3	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 学校施設の非 構造部材の耐 震対策につい て	<p>東日本大震災では、多くの学校において天井が落下するなど、非構造部材による人的被害が生じた。改めて非構造部材の耐震化の重要性が認識されている。</p> <p>今後、東海・東南海・南海また首都直下型の大地震が予想される中、学校施設も非構造部材の耐震化は必要であると思うが、考えを伺う。</p>		教育長
4. まちなかの活 性化のために	<p>本市には、まちなかを活性化する目的で、店舗改装等に活用できる補助金制度がある。</p> <p>その利用状況はどうか。また、補助率を上げて利用を促進し、さらなる賑わいを再生すべきと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	中原 巧
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 総領町を通過する国県道の整備及び事業の中止された緑資源幹線林道支線高尾小坂線の代替事業の方向性について	<p>(1) 昨年度、広島県が今後4年間につき、広島県道路整備計画の後期整備計画を策定されていると思うが、総領町を通過する国県道の各路線は計画に掲載されたのか。</p> <p>また、平成32(2020)年度までの土木局所管事業の優先度を5月に決定し、公表すると報じられたが、どのようになっているのか伺う。</p>		市長
	<p>(2) 国道432号の総領支所東側の歩道の整備は、現在、どのようにしても地権者の同意が困難であり、再度、張出し工法を採択され、事業実施されるよう県へ要望していただけないか伺う。</p>		
	<p>(3) 一般県道中領家庄原線の未改良区間の五箇及び田尻工区で、一部重用される予定であった林道支線は、土木局や農林水産局と協議の結果、今年度及び次年度以降どのように事業展開が図られようとしているのか伺う。</p>		
	<p>(4) 主要地方道三良坂総領線の整備は、地形や集落が密集していることが原因で、管理道を舗装して、暫定的に歩道を確保されたが、今後の整備の方向性をどのように考えられているのか伺う。</p>		

順位	4	質問者	中原 巧	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
<p>1. 総領町を通過する国県道の整備及び事業の中止された緑資源幹線林道支線高尾小坂線の代替事業の方向性について</p>	<p>(5) 主要地方道甲山甲奴上市線の改良率は約 80%であるのに、本市分は、理由があるとしても 37.6%である。2市1町で同盟会を設置して要望活動を展開されていると聞くが、他の自治体の首長はこの現実をどう受け止めておられるのか。整備促進活動は、関係団体が一体となり行うべきと考えるが、どのようにして整備促進を図られようとしているのか伺う。</p> <p>(6) 一般県道高光総領線の中領家地区の未改良区間は、多くの方々のご努力により、地権者の理解が得られたと聞いているが、今年度以降の整備計画はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(7) 緑資源幹線林道支線高尾小坂線の庄原・三和区間の中止により、今後は、既存の県道・市道を生活ネットワーク路線として整備推進を行いながら、林業の振興を図ると答弁されているが、どのように検討され、事業展開を図られようとしているのか伺う。</p>			市長

順位	4	質問者	中原 巧	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
<p>2. 東日本大震災に係る災害廃棄物への本市の対応について</p>	<p>(1) 市長は平成24年第1回定例会で、がれき処理についての一般質問で、「県は安全基準や処理基準を国が設けるよう要請している。安全性が示されても、周辺地域の皆さんや、そこで働く人々等のご理解やご協力も必要で、解決しなければならないさまざまな問題も山積しているが、安全性が確保されたら協力をしたい」と答弁された。</p> <p>しかし、3月16日の中国新聞における、無条件受け入れと読みとれる記事とは別に、市長答弁のとおりの記事も掲載されたが、誰がマスコミ対応しているのか。</p> <p>また、記事の内容はどちらが正しいのか。間違いの部分は訂正させ、市民に報告する必要のある大きな問題と思うがどうなのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 3月以降、全国的には一部の自治体等が受け入れを開始した。地元の抗議行動もテレビ報道されたが、県の要請している基準が示されるまで傍観して、地域の皆さんや最終処分を委託している事業者に、何ら説明やお願いはされないのか伺う。</p>			<p>市長</p>

順位	4	質問者	中原 巧	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
2. 東日本大震災に係る災害廃棄物への本市の対応について	<p data-bbox="517 508 1161 719">(3) 岩手・宮城両県の災害廃棄物は、マスタープランでは3年間で処理することとされており、広域処理はさけて通れないところである。</p> <p data-bbox="529 741 1161 952">さまざまな問題はあるものの、人としてどうあるべきかが、今問われている。庄原市の首長としてどのように取り組もうとしているのか伺う。</p>	市長				

順位	5	質問者	八谷 文策
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市と環境ベンチャー企業との共同事業について	(1) 市長は、環境ベンチャー企業との共同事業について、「理念は正しいが、相手が悪かった」との発言を繰り返している。本来、理念正しきものは成功するのが正しいものであるが、考えを伺う。		市長
	(2) グリーンケミカル(株)の補助金不正受給というが、すべて検査をして、その結果、庄原市補助金交付規則及び庄原市農林漁業振興補助金交付要綱に基づき交付されているのに、不正受給が成り立つのであろうか、考えを伺う。		
	(3) 機械製作工場の立入り、また、入札状況のチェック等を行われたが、その際、職員は市長の命を受け、どのような検査を行い、市長の代行をした職員からの報告書の内容等はどのようになっているのか伺う。		
	(4) 議会に提出し可決された予算は、目的どおりの執行をし、正しい管理をすることが義務付けられている。市長はこれに違反していると思われるのかどうか伺う。		

順位	6	質問者	林 高正	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 地域担当職員 制度導入につ いて	<p>合併して7年が経過し、それぞれの地域の課題や要望も大きく変化してきている。旧町の自治振興センター化も進んできており、その担う役割はさらに重要となっている。</p> <p>そこで、要望の「承り役」行政から一步出て、地域を「支援」するために、一定のエリアごとに行政職員を地域担当職員として配置する制度を提案する。行政と住民との狭間に立って、そのつなぎ役や相互信頼の醸成を図る役割が考えられるが、まずは、職員自らが地域に入り、地域課題を探ることから始める必要があると思う。「課題解決は現場にあり」ではないか。</p> <p>全国各地でこれまでもいろいろな取り組みがなされているが、広域合併した市町では、この地域担当職員制度がかなりの率で採用されてきている。限界集落を多く抱える本市においては、取り組むべき制度だと考えるが、所見を伺う。</p>			市長

順位	6	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. グリーンケミカル(株)の補助金不正受給刑事事件等への対応について	<p>平成 24 年 5 月 28 日に開催された、議員全員協議会で発表された事業取り消しについて伺う。</p> <p>当日の資料より</p> <p>3 事業取消について</p> <p>全事業調査終了後、判明した事実により、市補助金交付規則第 16 条に該当することを確認し、グリーンケミカル(株)が実施した事業について事業取消、補助金返還命令を行う予定である。</p> <p>事業取消、補助金返還命令の時期については、全事業調査終了後、中国四国農政局と協議を行い早期に行う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p>その際、執行者から、「調査については6月を目途に完了して、次の手続きに入っていきたい」と明言されたが、現在の状況はどのようなになっているのか伺う。</p>		市長

順位	7	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 若者定住促進 について	<p>本市の人口は減少の一途をたどっており、特に若年層の減少が著しい。このことは地域の活力を維持していく上でも、大変深刻な問題である。そこで、若者たちが安心して暮らせ、子どもを産み育てられる環境を整備し、若者世代の定住を図り、人口減少に歯止めをかけるための施策について伺う。</p> <p>(1) プライダルサポートセンターのこれまでの実績と今後の展開について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 少子化対策の一環としての医療費助成の現状と今後の対応について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 若者定住のための雇用の確保対策の現状と今後の施策について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 若者定住のための住宅環境対策の現状と今後の施策について伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	西村 和正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 企業誘致など 地域経済の活 性化に向けた 取り組みにつ いて	<p>雇用の場を確保し、地域経済の活性化を図るためにも、工業団地などの未利用地に企業誘致を積極的に進めるべきと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 商工観光課に企業立地係を設置しているが、企業誘致に向けどのような取り組みをしてきたのか伺う。</p> <p>(2) 平成24年度中に三次以北の開通が予定されている中国横断自動車道尾道松江線の整備により、新産業の創出や企業誘致の可能性の拡大などが期待されている。</p> <p>中国自動車道とあわせた新たな高速道路交通網を活かして企業誘致を積極的に進める必要があると考えるが、具体的にどのような取り組みをされるのか伺う。</p> <p>(3) 企業誘致に加え、尾道松江線の開通を新たなビジネスチャンスと捉え、地場産業の育成や新たな産業を起こすことにより、地域経済の拡大発展を図るべきと考えるが、どのような振興策を進めようとしているのか伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	西村 和正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 防災対策について	<p>近年、大規模な災害が発生しており、防災対策は喫緊の課題である。行政として、災害を未然に防ぐとともに、万一に備えて被害を最小限にとどめる対策が必要である。</p> <p>(1) 崩壊が予想される急傾斜地や河川の氾濫による浸水など市内の危険箇所について、しっかりと把握しているのか。また、梅雨に入り、市道の側溝や河川などの点検や整備は済んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 避難場所は適切に確保されているのか。また、避難場所の市民への周知や防災備蓄は十分に確保してあるのか伺う。</p> <p>(3) 避難場所の施設整備は十分にできているのか。幼児や高齢者など幅広い年齢階層の市民が避難されると思うが、そうした方たちが利用しやすいような施設として整備することが必要ではないか。</p> <p>同時に、避難場所への誘導標識や施設の表示がないと思うが、緊急時に迅速に避難できるよう早急に整備すべきではないか伺う。</p> <p>(4) 市民の防災意識を高める取り組みや地域の自主防災組織との連携を図ることにより、災害発生時における防災や迅速な避難活動が確保されると考えるが、どのような対策を進められるのか伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	西村 和正	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
3.	広島県起業の 道整備交付金 事業（河内高野 線）の促進につ いて	<p>広島県が道整備交付金事業として実施している河内高野線について伺う。</p> <p>（1）東城町久代の農道部分は工事が完了したと聞いているが、高野地区から河内地区までの林道整備区間の事業計画は、どのようになっているのか伺う。</p> <hr/> <p>（2）現在、東城町久代の高野地区に至る道路は、未改良の市道が1路線あるだけで、急勾配なうえ道路幅員も狭く、地域の住民は難渋している。</p> <p>地形的な制約を受け、市道改良が困難であることから、この道整備交付金事業により高野地区への交通を確保しようとするものであり、早急に完成することが地域住民の生活を支える視点からも大変重要と考えるが、事業促進にどう取り組むのか伺う。</p>		市長		

順位	9	質問者	名越 峯壽	答弁を 求める者	市長
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 林業振興について	<p>(1) 本市は平成 23 年度に林業振興課を新たに設置し、早 2 年目となる。「平成 23 年度の施政方針で生業としての林業振興を検討する。平成 24 年度では林業振興の方向性を具体化し、持続的な林業経営と森林資源の適切な整備及び活用を図るための新たな指針として林業振興計画を策定する」との方針であるが、平成 23 年度における反省、平成 24 年度の基本的な方針について伺う。</p> <p>(2) 平成 23 年度から国県の補助金の方針が変わったが、山林の市、庄原市として、国県に対して、特に再造林・保育林について、どのようにするよう要望されるのか、あるいは、されようとしているのか伺う。</p> <p>(3) 地域材活用、木材の利用促進については、「地域木材住宅建築普及奨励金を継続して、市内木材の利用促進及び林業経営の振興を図る」との方針であるが、これまでの実績を伺う。</p> <p>(4) 市内木材の普及、雇用の場の創設等、目的達成のために、今後は特に住宅改築（バリアフリー化等）が進むであろうが、奨励金制度や森林組合を中心とした木材製品の提供がより林業振興につながると思うが、所見を伺う。</p>			答弁を 求める者	市長

順位	9	質問者	名越 峯壽	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2. 固定資産税の 評価について	<p>(1) 固定資産評価は3年に一度見直すことになっており、今年は見直しの年である。資産の中の地目「田」の評価方法及び手順について伺う。</p> <p>(2) 田については「標準的な田を選定し、その適正な時価に比準して各筆を評価します」とあるが、旧市町ごとに差がある。市内7地域ごとの標準的な評価額はどうか伺う。</p> <p>(3) ほ場整備を行った田とそれ以外の田の区別は、どのような整理をしているのか伺う。</p> <p>(4) 米の生産調整が昭和40年の終わりから始まり、現在、約3分の1は転作田になっている。特に、耕作放棄地について、どのように評価をしているのか、また、今後されようとしているのか伺う。</p>			市長

順位	10	質問者	坂本 義明	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原上野公園 の今後について	<p>(1) 観光スポットとしての庄原市上野総合公園を、観光施策の中でどのように位置づけているのか伺う。あわせて、春の花見、夏の花火大会等それぞれのイベントへの観光客数も伺う。</p> <p>(2) また、市民のいこいの場としての庄原市上野総合公園を、今後どのようにより市民に親しまれる公園として整備するよう計画されているのか伺う。</p> <p>(3) 多目的公園としての整備は、現在、陸上競技場があるが、それ以外の整備が進んでいない。高齢者、子ども、車椅子での利用など、より多くの方が回遊できる公園にすべきと思うが、計画はあるのか伺う。</p>		市長	
2. 庄原地域の斎 場整備計画に ついて	<p>(1) 施設整備の進捗度が見えないが、どのくらい進んでいるのか、現在の検討状況を伺う。</p> <p>(2) 計画するに当たっては、早目にアンケートを取るなどし、住民の意見も把握する必要があると思うが、考えを伺う。</p> <p>(3) 三次市、安芸高田市と続いて建設されているように聞くが、その内容は把握しているか。本市における整備は、計画としては何年ごろになるのか伺う。</p>		市長	

順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. ジュオン問題 の事業管理に ついて	<p>(株)ジュオンとグリーンケミカル(株)の経営者を補助金適正化法違反で告訴する事態となったことについて、市行政のチェックの甘さがあったと市長は説明しているが、その具体的な内容はどうか。</p> <p>特に、粉碎処理設備設置工事に関連する件を中心に、見解を伺う。</p>		市長
2. ジュオン問題 の総括視点に ついて	<p>(1) ジュオン問題の現在の状況を招いた根本原因について、市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 市の重要政策について、企画立案、政策決定、政策実行、実施状況の点検・修正、あるいは改善協議等は、市行政組織の総力を集結して実行することが重要である。</p> <p>その中で、(株)ジュオンに関連する事業は、市行政組織内の一部に、決定・推進権限を限定し、市長の独断による推進が現状を招いたと思うが、市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	12	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. グリーンケミカル(株)破綻後の新スポンサー企業の見通しと時期について	<p>二度と失敗は許されない中で、市長は新スポンサー企業に期待をされているが、次のとおり伺う。</p> <p>(1) グリーンケミカル(株)の現有施設を利用した新会社設立は可能で、新スポンサー企業は本当に来ることができるのか、その時期はいつか伺う。</p> <p>(2) 大学と連携した研究成果の活用との話はどこまで進んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 新スポンサー企業について、市職員は調査・検討をしているのか伺う。</p>		市長
2. グリーンケミカル(株)に売却した用地について	<p>グリーンケミカル(株)へ売却した用地は、銀行の担保に入っているとのことだが、金額はいくらか。また、土地が銀行の担保に入っていることは、次なる企業の事業再開に向けて支障はないのか伺う。</p>		市長
3. 農林振興公社の運営する八木店の今後について	<p>八木店の経営については、独立採算には程遠いと思うが、現在のままでいくのか、いけるのか。また、三次きんさい館と比較すると、売上げ等において大きく差がある。取り組みの体制が違うのか、場所がよくないのか、現在までの成果と今後の方策を伺う。</p>		市長

順位	12	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. TPP問題に対する農業委員会としての考え方について	<p>農業委員会のTPPに対する考えは、前回の答弁からも、反対姿勢を貫いておられると承知している。ただ、今は消費税問題で国は混乱しているが、この問題が決着すると、TPP問題は最重要課題としてまた浮上してくると思われる。現在、国・県の農業委員会組織の動きを感じられないことに対して、本市の農業委員会としてどのように感じているのか。</p> <p>また、この時期に、農業委員会を中心に反対決起集会等を大々的にやってみてはいかがか。もちろん、三次市農業委員会、JA、行政、議会、共済組合、全農も含め大きな大会をすべきと思うが、会長としての考えを伺う。</p>		農業委員会 会長

順位	13	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地元中小企業の振興について	<p>(1) 適正な公契約を進めるためにも、市が発注する公共工事や委託業務を受注した企業・下請け業者等に、生活できる賃金や労働条件を保障することを義務付ける「公契約条例」の制定など、改善策が必要だと思いが、考えを伺う。</p> <p>(2) 平成12年からの規制緩和による過当競争は、安全・安心を脅かす事態も引き起こしている。貸し切りバス等の契約は、中国運輸局の方針に基づき適正に行うべきと考えるが、取り組みの現状を伺う。</p>		市長
2. 震災がれきの広域処理について	<p>市長はいち早く受け入れ表明をしたが、国の示す基準で安全だと判断しているのか。</p> <p>また、受け入れ側としてどのような判断と基準で対応しようとしているのか伺う。</p>		市長
3. 補助金不正受給問題の解決を	<p>(1) 市長は今でも、事業継続をめざすつもりなのか伺う。</p> <p>(2) 市長が5月28日の議員全員協議会で言われた「市民が納得できる収拾」とは、どのような内容を想定しているのか伺う。</p> <p>(3) 一日も早く事業中止と補助金返還命令を出し、市長の事業執行における責任も明確にし、毅然と対応しなければ、裁判も争えないし、市民の理解も得られないのではないかと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	14	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市と環境ベンチャー企業ジュオンが進めた共同事業の成果と課題について	<p>本市においては、平成 18 (2006) 年に「みどりの環経済戦略ビジョン」を立ち上げ、木質バイオマス活用プロジェクトを推進してきた。</p> <p>具体的取り組みの一環として、平成 19 (2007) 年 3 月に木質バイオマス関連事業の推進に関する協定書を(株)ジュオンと締結し、①木質チップボイラー事業、②バイオエタノール実証実験施設整備事業、③木質バイオマス利活用プラント事業に取り組んできた。</p> <p>しかし、平成 22 (2010) 年 11 月 30 日に(株)ジュオンの営業停止、破産手続き準備により事業がストップしてしまった。本市においては民事再生による事業再開をめざしたが、平成 23 (2011) 年 12 月末、NHKの報道を端に脱税補助金不正受給の疑いが伝えられた。</p> <p>本市としても事実確認を行ったところ、契約や発注に不正行為が確認され、本年 1 月 20 日に告訴したところである。</p> <p>(1) この事業を通して、本市が得た成果は何で、課題・問題はどのようなものであったのか伺う。また、一連の取り組みを糧として、今後どのように活用しようと考えているのか伺う。</p>		市長

順位	14	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市と環境ベンチャー企業ジュオンが進めた共同事業の成果と課題について	(2) 本事業を成功させるためには、「豊富な森林資源」が循環する仕組みを確立することが前提であると思うが、現状では不十分ではないかと考えるところであり、木質バイオマス事業全体を推進する中で、このことが明らかになったと思うが、市長の認識を伺う。		市長
	(3) 資源である山林の不在地主が増え、木材の売買もなかなか難しく、所有者が居住していても自分自身どこを所有しているのか認識がないなど、素材流通の困難性があると思うが、市長の認識を伺う。		
	(4) 長らく続く木材価格の低迷により、地域における素材生産業者の減少は著しく、このような現状の中で、「木質バイオマス」活用事業が成果を出すことができるのか、考えを伺う。		
	(5) 林業振興課へ主幹・専門員を配置されたのは、本共同事業及び「木質バイオマス事業」の成果と課題を明らかにし、本市の歩むべき「木質バイオマス事業」のあり方を確立するためと考えるが、本事業の総括がどの程度なされているのか。また、最終的な総括はいつどのような形で出そうと考えているのか伺う。		

順位	14	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 超高速情報通信網整備と商工業振興について	<p>本年2月に、市内7カ所において、超高速情報通信網整備に係る市民説明会が開催され、説明会では「一部地域のみでの整備ではいけない。当初から全域の整備をすべき」との意見が一番多く出されたと聞いている。</p> <p>(1) 今回の整備計画の方針は、とりわけ商工業の振興に重きを置いたものであり、より具体的な目標を明らかにして、市民説明をすべきではなかったのかと思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) どのくらいの企業経営者が利用を考えられ、本市としての参加企業の目標は何社くらいと考えているのか伺う。</p> <p>(3) 新たな整備計画によって、工業団地をはじめ、各所への企業の参入をどの程度と考えているのか伺う。</p> <p>(4) 本整備計画によって、どれだけ雇用を生み出そうとしているのか伺う。</p>		市長